



男女共同参画を進める上で、どんな課題がありますか？

「男らしさ」「女らしさ」「こうあるべき」という固定的な見方を、他の人にも強要したり、それに合わせて社会の制度や仕組みができていたりすること、そのような風潮があることが課題だと思います。例えば「子育ては母親がした方が良い」「男は仕事をした方が良い」といった固定的な見方や役割分担の意識が、そのような雰囲気を作っているのではない



女性のための
エンパワーメントスクール

でしょうか。

また、「管理職や組織のリーダーなど、責任のある立場になろうとする女性が少ないのではないか」という声を聞くことがあります。しかし、「女性は男性よりも一歩引いて」「女性は控えめに」といったことを求められてきた中で、「私がやります」という意思是表しづらくなっているのではないのでしょうか。



男性のための
コミュニケーショントレーニング

ではないのでしょうか。



「フレンテみえ」の活動を通して、感じていることを教えて！

「フレンテトーク」という事業で、地域の団体や企業などへ訪問させていただくことがあります。以前と比べ、話の内容を肯定的にとらえ、男女共同参画を進めていきたいと感じる人が増えて、男女共同



フレンテまつり

参画に対する社会の関心が高まってきていると感じています。

一方で、電話や面接で行う相談や講座の参加者の中には、DVなど深刻な問題を抱えている女性の声を多く聞きます。「この状況は自分が悪いから」と自分を責め、苦しんでいる人が、相談や講座に参加することで、「自分が悪いわけではない」と気付いてくださいます。私たちが大切にしているのは、そのような声をじっくりと聴き、これからどうしていきたいかを自身で決めることができるように、一緒に考えていくことです。個性や意思を尊重し、自分を大切に自分らしく生きていく力を取り戻してもらえるように、その後押しができればいいなと思っています。



男女共同参画を進めていく上で、大切にしたいことは？

私自身、「相手を尊重すること」「対等な関係であること」について、意識が変わってきたことがあります。以前は「相手との関係が崩れるのではないかと、自分の伝えたいことを伝えずに済ませていることがよくありました。しかし、「フレンテみえ」で勤務するようになってからは、性別やキャリアにかかわらず相手の考えをしっかりと聞き、自分の考えもしっかりと伝えることが、相手との対等な関係を築くためには必要で、相手を尊重することにもつながるのだと思うようになりました。このことは「男女共同参

画」を進めていく上で、とても大切なことだと感じていますし、私自身もそれを忘れずに生きていきたいと思っています。



「フレンテみえ」から、来場者へのメッセージ